

わかつばき WAKATSUBAKI

2019年度
スローガン

前へ

卒業生特別号 INDEX

- | | |
|----|---------------------|
| 2 | 上甲 盛一 君 / 西野 完 君 |
| 3 | 石丸 聰 君 / 刈谷 篤史 君 |
| 4 | 橋本 泰昇 君 / 吉田 吏志 君 |
| 5 | 安永 義知 君 / 一色 亮佑 君 |
| 6 | 黒田 浩太郎 君 / 林 エリサ 君 |
| 7 | 安永 恵補 君 / 濱本 秀行 君 |
| 8 | 御手洗 宏 君 / 奥川 良保 君 |
| 9 | 岡部 純二 君 / 金子 武史 君 |
| 10 | 吉良 秀人 君 / 近藤 岳志 君 |
| 11 | 高岸 治 君 / 向井 佑輔 君 |
| 12 | 宇都宮 浩明 君 / 理事長メッセージ |



まつやまの 未来を 想う



公益社団法人松山青年会議所
Junior Chamber International Matsuyama

松山JC 検索
<http://www.matsuyama-jc.or.jp>

松山青年会議所公式キャラクター「まっどる犬」



財政局長
西野 完 君
愛媛新聞旅行 勤務

2009年、松山青年会議所に入会させていただき、今年で卒業を迎えることができました。

3信条『奉仕・修練・友情』、11年間で様々な出会い・気づきと学びがあり、私にとっての青年会議所活動は生活の一部となっています。卒業後はJCロスで、寂しさや物足りなさを感じると先輩から聞いたことがあります、新たな目標を掲げ、背景、目的、手法を構築し今後の人生設計をさらにプラスアップをし続けていきたいと思います。

お世話になった数多くの先輩・後輩に感謝するとともに、これから松山青年会議所を影ながら見守っていきたいと思います。

現役の皆さん、自分の限界を超えるよう、限られたJCライフを満喫してください。

『百聞は一見しかず 百見は一考にしかず 百考は一行にしかず 百行は一果にしかず』



監事
上甲 盛一 君
株S' chatz Japan 勤務

2011年1月に松山青年会議所に入会させて頂きました。本当に色々な役職、出向等させて頂きました。多くの学び築きを得る事が出来ました。

また、もう一つのJCでもある自動車部会への入会、そして、委員長、部会長までさせて頂きました。しっかりと勉強もさせて頂きました。

尊敬できる先輩も沢山できました。親友もできました。弟みたいな後輩もできました。ビジネスパートナーもできました。卒業間近になり色々思い返すといい思い出ばかりです。

本当に貴重な経験をさせて頂きました。今後はゆっくり余生を楽しく送らせていただきます。(笑)

最後に松山青年会議所の益々のご発展、そして現役の皆様のご健勝ご多幸を心より祈念いたします。





まつり委員会 委員
刈谷 篤史 君
株日本トリム 勤務

熱き良きメンバーと出会えた最高の3年間でした。
議案書に没頭した3年間でもありました。
JCを通じ様々な経験をさせていただいたことを糧に、猪突猛進の精神と共に前へ進んでいく所存です。
本日で卒業となります、皆様のご健勝とご活躍を、
心よりお祈り申し上げます。



まつり委員会 委員
石丸 聰 君
株GOLDWAY 勤務

2018年7月の入会後、特に皆さんの方になる事も出来ないまま、早い卒業を迎ってしまいました。

今になって、もっと色々な事業等に、協力出来れば良かったと思います。

けれど、委員会のメンバーを始め、沢山の人にお会いした事と、今まで関わる事もなかったと思う色々な事業に参加させて貰った事は僕にとってとても貴重な経験となりました。松山青年会議所の活動で頂いた、気付きやスキルを糧にこれからも頑張っていきたいと思いますので、これからも皆さん末永く宜しくお願い致します。ありがとうございました。





まつり委員会 委員

吉田 吏志 君

(株)鳳洋道路興業 勤務

2015年7月に宇都宮君の紹介で、月に基本2回出席するだけでいいからと聞かされ入会させていただきました。今、思えばこの「基本」という言葉に騙されました。

気が付けば3回・4回・5回と回数が増え、集まらなくとも仕事の合間を見つけてはJCを頑張っている時もありました(笑) 入会当初は騙されたという気持ちもありましたが、はっしゃや西野さんと飲み友達もできたり、歴史のメンバーにお世話になり卒業を迎えることになりました。本当にありがとうございました。卒業を迎えて想うこと。JC良かったなー。さとこれからも頑張ります(^^♪



まつり委員会 委員

橋本 泰昇 君

(株)橋本ガラス店 勤務

2004年に入会してから約15年が経ちます。ようやく卒業を迎えるにあたって自分自身色々な思い出を振り返ってみました。入会当初は右も左もわからず、メンバーは10近く歳の離れた人たち。委員会では何について会議しているのか把握できない。飲みたくないお酒を飲まされ…etc.

入会して最初は会員拡大から福祉に行き俳句をへて祭に所属しました。事業に携わっていくうちにメンバーとも徐々に打ち解けていくのを実感しました。京都会議、サマコン、全国大会旅を共にして改めて親交を深めるとともに毎年恒例の楽しみとなっていたと思います。

約10年まつり委員会で活動し責任あるポジションを徐々に与えてもらうと同時に事業に対する想いも変わっていました。その中で自分にとってこれから的人生の友達ができたと思います。学生時代とはまた違う友達…仕事とは関係のない友達。

40近くになり友達ができると思いましたがこのようなメンバーが委員会にいると自ずと出席が増えた気がします。現役で残られるメンバーの皆さんにもそういった仲間と一緒にJC生活を楽しんでもらえたらと思います。

最後にお疲れっした。ありがとうございます。





忽那のたから再発見委員会 委員長

一色 亮佑 君

愛媛ダイハツ販売㈱ 勤務

泰祥のけっかから世話になったな。鉄っちゃん色々教えてもらったわ。清家鈍感力に感服よ。やっさん中途半端な絡みやったな。うっちーどこまでええやつなん? はっしー、横チン、カーリー、かったん、またゴルフとカラオケ行こw。木田来年は議案書けよ。みょん君挨拶変えてw。完ちゃんまたバスよろしく。上甲俺の委員長はあの日がキッカケやろなサンキュ。ドゥー、悠ちゃん、加島、光、色々な場面で世話になったね。多賀ちゃんもっと顔出せよ。まちやき伊予弁に戻せ。大川ダイハツ売ってね。青野出席プレッシャーお見事。矢野俺はお前の見方よ。新平また尚ちゃんとバカ飲みしよ。大ちゃん公私共引き続き。村井ホントようやつたわ。彰太会長よろしく。竜共に未来へ。勝也またな。宏今後もヨロ。治週2で行く。

書ききれない先輩、一緒に時を共にしたメンバーありがとうございます。これからもよろしく。

そして何よりゆうき、良太、弥子ちゃん、赤池、ケビン、恵輔w、エリサ、忠ちゃん、山本君、J甲、やっくん、関、城、にっしー、フジモン、にの、タイガ、明徳みんな最高でした。みんなには直接伝えます。「忽那のたから再発見委員会」それは俺にとって最高のアナザースタイ。



まつり委員会 委員

安永 義知 君

㈱アネスト 勤務

2017年4月、刺激のない日常から抜け出したかった私は自己成長と仲間づくりを目標に掲げ、松山青年会議所へ入会しました。

右も左も判らず所属したまつり委員会（当時：歴史文化発信会議）は、先輩の言う事は「絶対」であり、口ごたえなどは許されず、委員長の号令でみんなが動き出すその様は、まさに、仁義を重んじる縦社会でした。

しかし、一見理不尽そうに見えるまつり委員会でしたが、メリハリの利いた委員会運営、各自役割分担の明確化、とことんやる事の大切さ、船田先輩、大谷さん、三原さん、清家さんには多くの事を学ばさせていただきました。

あれから2年8ヶ月、数々の修練を乗り越え、成長し、分かち合い、言葉では言い表せないほどの思い出を作ることが出来たJC生活、入会時に掲げた目標は達成され、胸を張って卒業することが出来ます。この歳になつて本音で話が出来る先輩や仲間に出会えたことを心から感謝するとともに、まつり委員会で携わったすべての事は、私にとってかけがえのない財産であり宝物です。

本当にありがとうございました。





忽那のたから再発見委員会 委員

林 エリサ 君

(株)カライス 勤務

たった1年半。2018年6月にJCに入会させていただき、あっという間に卒業式。後2、3年はまだ現役でいたかったと思っています。

「1年半しかないんだから出来るだけ参加してみよう」そう決めて過ごしたJCライフは、新入会員プログラムから、卒業式まで全てが私にとって宝の時間です。なので私の思い出は到底500文字には収まりきりません。(笑)みなさん本当にありがとうございました。

そこで、この場を借りて、皆さまへお願いがあります。JCに入会したきっかけは「お付き合い」という方もいるかもしれません。例会に行くのも、事業に行くのもめんどうかもしれません。

ですが、たくさんの人に関わり、何十時間も仲間と過ごし、経験を重ねることで、自己成長でき、人と人との繋がりもできて信頼関係もできます。1時間でも多く出席してJCや仲間を知ってみてください。

そして1人でも多くの「心から信頼できる友人」を作っていただけたらと思います。大人になってこのような経験が出来る場所は他に無いと思います。

偉そうなことを言いましたが、少し気に留めていただけると幸いです。

「あー、本当にJCに入って良かった」。

忽那のたから再発見委員会、それは私にとって最高のアナザースカイ。



忽那のたから再発見委員会 委員

黒田 浩太郎 君

(株)ビケン 勤務

思い返せば2017年5月に入会したのが始まりでした。初年度はまつやままちづくり特別会議委員会に所属させて頂きましたが、正直この年、委員会も例会も事業もほとんど出席出来ていませんでしたので委員会のみなさんには大変ご迷惑をお掛けしました・・・申し訳なかったです <(_ _)>

それからあっという間に半年が経ち次年度モードそして次の委員会が国際推進委員会でした。2018年は協調性を持って挑戦をするぞと密かに決意したのを覚えています。当然ながら17年度よりは積極的に参加しメンバーとも距離を縮められた1年になりました。

そして何よりも今年の忽那のたから再発見委員会に所属させて頂けたことが私にとってJC生活での最高の思い出です。2018年の準備委員会にメンバーと御対面、最初はお互い探り探りの部分もありましたが、みるとみるうちにメンバー同士が意気投合していったのを今ではっきりと覚えています。準備から事業開催までOne Teamでやれたこと、最高でした。忽那のメンバーとして卒業できることを誇りに思います。

忽那のたから再発見委員会、それは俺にとって最高のアナザースカイ。





ことば溢れる委員会 委員

濱本 秀行 君

(株) 濱商 勤務

全国大会松山大会前に勧誘されていた JC ですが、諸々の事情で入会が遅れ 2017 年に入会。今は亡き(退会的な意味で)橋信也君と西村直樹先輩の紹介というかたちでした。

2017 年度は地域活性推進委員会、2018 年度は国際推進委員会、そして卒業年度の 2019 年はことば溢れる委員会に所属しました。

残念ながら役職を冠することはませんでしたが、濃いキャラクターのメンバーを微力ながら下支えするだけでも満足する活動ができたと思います。

3 年に満たない活動でしたが、ひとことで表すことが出来ないほど濃い時間を過ごしたなという思いがあります。

メンバーの中にはレジェンドと呼ばれるほど長い時間 JC 活動に奔走する方も居れば、10 年は長い、3 年くらいが丁度いい等々、人によって考えはそれぞれです。私にとっては 3 年間は短い、あっという間だったな、あと 2 年くらいは頑張れたな、という感想です。こういう気持ちになれたのは、松山 JC で私と関わってくれた人、私に影響を与えてくれた人達のおかげだと思います。

あと 2 カ月足らずで卒業となりますが、「最終最後まで」少しでも未練が残らない活動と少しでも私に関わってくれた人に感謝を伝えることが出来たらと思います。

「義を見てせざるは勇無きなり」と共に。



忽那のたから再発見委員会 委員

安永 恵輔 君

(株) NEXT 勤務

J C に入会する前は、絶対に入りたくない! と思い、断り続けていました。J C に入っても時間の無駄で、お金使うだけだと敬遠していました。しかし、当時 37 歳で MAX2 年半というリミットということで、それなら入会して無理なら即やめよう決めて入会しました。

2017 年度に入会し、拡大育成委員会に所属になり、最初の例会に出席した時に感じたのは「意外にちゃんとしてる…宗教っぽいけど。クリードって何? でもすごい…宗教っぽいけど。J C ソングとかあるんや…宗教っぽいけど。」あと、初例会の隣の席に座った牧〇君がめっちゃ詐欺師っぽいなーと。

2017 年度は拡大育成委員会、2018 年度は拡大推進会議に所属し、例会・委員会には出席して、仲間ができ、同じような悩みや様々な考え方につれていたことについては本当に学びになったと思います。そして 2019 年度は忽那のたから再発見委員会。大嫌いだった一色君からのまさかのオファー! からの快諾! 今となっては大好きな委員長です。最高のメンバーと最高の卒業生 4 人組でやり切りました。J C に入って多くの仲間ができる事が一生の財産です。忽那のたから再発見委員会、それは恵輔にとって最高のアナザースカイ!





ひとづくり委員会 委員

奥川 良保 君

(株)ナカタ不動産 松山支店 勤務

2018年1月に入会し、ちょうど2年間活動をさせていただきました。

まつやまの未来加速委員会に配属となり、賀詞交歓会の担当委員会で、初めての例会は何もわからないまま終わった印象です。その後すぐに議案書に携わるようになり、日本アカデミーを受講しに行き、映画制作の担当をさせていただき、入会1年目は仕事もせずにJC活動に勤しんでいました。2年目にはひとづくり委員会の副委員長を拝命し、毎月の議案上程や泊まり込みの会員育成プログラムなど、同じくあまり仕事が出来ないこととなりました。

在籍期間は短かったのですが、様々な経験ができるチャンスをいただき、非常に濃い時間を過ごせたと思っています。また、松山青年会議所には全く知り合いがない状況からの始まりでしたが、多くの方とのつながりができたことも大きな財産になると感じています。この2年間で成長できたかどうかは自分自身ではまだ分かりませんが、松山青年会議所で得たものを今後の人生に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。



ことば溢れる委員会 委員

御手洗 宏 君

(株)レンタルショップクリア 勤務

私は、2014年の7月に入会しました。当時は全国大会松山大会開催の年で、年度途中の大会直前の参加の身としては何が何だかという状況でした。しかしながらその場を体験したこと、JCのスタイルや在り方を学ぶことができたかと思います。思い出はいろいろありますが、17年の地域活性化推進委員会で、留学生と一緒に事業を構築したことです。今まで避けて通った外国人との交流。話す言葉が違うだけで、大して変わらないと感じました。それと、昨年の次世代育成委員会の旅行。変わった事がしたい、街に飲みに出るんじゃなくて、キャンプをしようと、島のコテージで1泊しました。多くはここで語れませんが、周りに誰もいない島のコテージ、旋律の夜でした。死ぬかと思いました。そして、卒業年度ことば溢れる委員会。京都会議で夜な夜なモノポリーをしたのは修練でした。まつやま市民シンポジウム、門田委員長のはからいでステージでカーペンターズを演本君と二人、演じたのは見せしめでしたが私にとって最高のプレゼントでした。6年間の思い出ありすぎですね。

JC、なかなか大変でしたが、一生一度の経験をいろいろさせていただきました、みなさんありがとう。





未来を担う人財育成委員会 委員

金子 武史 君

税理士法人あおば 勤務

2013年度に入会させていただき、早くも卒業を迎えることになりました。

長いようで短い青年会議所活動でしたが、すごく濃密な時間、またすごく有意義な時間を過ごさせていただきました。

いろいろな役職を受けさせていただき、どの役職も思い出に残っておりますが、2018年度、近藤理事長体制のもと務めさせていただきました、事務局長の職が特に印象に残っております。

様々な場所に理事長にお伴させていただき、各地青年会議所の方と繋がり、青年会議所の三信条でもあります「友情」を深めることができました。また対内においては常任理事会、理事会で、裏方ではありますが、事前準備を始め、理事メンバーの皆さまの名前の読み上げ等、裏方の大変さもわかり、すごく楽しい、実りある一年になり、本当に貴重な経験をさせていただきました。

最後に、今まで本当にお世話になりました。この松山青年会議所で経験したことを今後の生活に活かしていきたいと思います。卒業しても、こんな私ですが、引き続き宜しくお願ひ致します。本当にありがとうございました。



ひとづくり委員会 委員

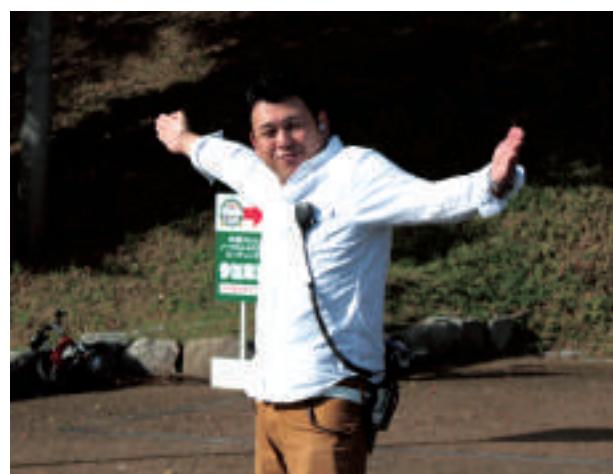
岡部 純二 君

(株)クロス・サービス 勤務

ラストイヤーのひとづくり委員会では幹事職を担当しました。京都会議で委員会メンバーの心が一つになった様におもいます。育成プログラムでは私の故郷で一泊二日で開催して頂きました。廃校を活用した授業スタイルで進めました。夜はメンバーの皆さんと道路に寝転んで天の川と流れ星を見たのは良い思い出です。

委員会事業については委員長、副委員長に任せっきりで、議案書は触る事無かったですが物事の考え方や構築の仕方など大変学びとなりました。

短い期間でしたが活動させていただきありがとうございました。





未来を担う人財育成委員会 委員

近藤 岳志 君

(株)近藤木工所 勤務

2017年3月に入会し、激動の3年間を過ごしました。JC入会後、2017年12月に待望の長男が生まれ（御祝儀まだまだ受付中です（笑））、子育てに追われて仕事もJC活動もなかなかうまくバランスが取れなかつたなあと、あらためて子を持つことの大変さを痛感しました。そんな状況の中、卒業の年に、未来を担う人財育成委員会に所属させて頂き、あまり参加出来ない私に、委員のみなさんは、温かく接して頂き、特に村井委員長には感謝尽くせない程、お気づかいを頂きました。この場をお借りして、感謝申し上げます。特に思い出深かったのは、わんぱく相撲、第4回まつやま活性化コンテスト等、微力ながら事業に関わらせて頂き、子ども達が一生懸命目標に向かって取り組む姿を見て、私自身も大きな刺激をもらいましたし、自分の息子も、健やかに育って欲しいなあと大きな希望を持つことができました。きっと、松山青年会議所に入会しなければ、体験出来なかった異次元の時間だったと思います。みなさま、ありがとうございました。



未来を担う人財育成委員会 委員

吉良 秀人 君

株吉良清商店 勤務

始めは当時拡大の委員長であった小椋先輩の「月2回！毎月たった2回の出席だけでいいから！2回ならそんなに負担は無いですよね！」と言う言葉を信じて新居浜から通い始めた松山JC。12月の小雨が降るなか久保豊ビルへ面接に行き、当時専務職だった杉野康雄理事長や財政局長であった村井委員長に面接をしていただいた事は今でもはっきりと覚えております。

早いものであれから3年間。思い返すと3年もよく続いたなあという気持ちです。月2回の参加で良いという小椋先輩の言葉は翌月にはJCというものが月2回で済むわけがないと早々と気付かされたのに…（笑）

入会して配属された青少年育成委員会が当年度の賀詞交歓会担当委員会で、年明け間もないころにあさつきのあるビルの2Fに呼び出され、暖房が無い部屋で寒さに震えながら行われた委員会が私のJCデビューでした。対外的な組織に入ったこともなかった人見知りな私がJCを3年間も続けられたのは、当時の青少年育成委員会委員長であられた岡本先輩が私を優しく指導し、また遠方からの参加という点についても最大限のご配慮をしていただいたからこそ私もJCと言う組織に入り込むことが出来たのだと思います。

思い出ばかりのJCを卒業してしまうのは寂しい限りではありますが、非常に密度の濃い充実した3年間でした。ありがとうございました。





未来を担う人財育成委員会 委員

向井 佑輔 君

株向井燃料 勤務

宇都宮委員長が卒業生として JC の思い出を書けと言ってきた。書く気がまったく起こらない。

誤解のないように弁明させて頂くと、そもそも 1 年半しか JC をやっていない自分に卒業生として送り出して頂く資格があるのか甚だ疑問であるのに、いわんや思い出話をやといった感じだ。しかし押して書けというならば仕方ない。何か書くべし。前置きが長くなつたが、ご笑納頂ければ幸甚である。

私は 2018 年 6 月に入会をさせて頂いた。それから 7 月担当例会、まつやま市民シンポジウム、模擬理事会、子どもたちの未来を照らすホットライン、わんぱく相撲、サマーチルドレン、まつやま国際フェスティバル、まつやま活性化コンテスト etc…と修練に次ぐ修練を 1 年半の間に駆け抜けってきた。今となってはすべて大切な思い出であるし、数え切れない学びと成長を与えて頂いたと思う。

2019 年度の事業モットーのひとつに「メンバーを巻き込む努力」があるが、これは「巻き込まれる覚悟」の裏打ちであると思う。すべての事業においてメンバーの協力は必須だったし、特に国際シンポにおいては未来委員会のメンバーには感謝してもしきれない。つまりは持ちつ持たれつののだ。

「人の価値はその人が得たものではなく、その人が与えたもので測られる」アルバート・AINSHUAIN

松山青年会議所の洋々たる前途を祈念して、筆を置かせて頂く。



未来を担う人財育成委員会 委員

高岸 治 君

株あさつき 勤務

私が青年会議所に入会させて頂いたのは 2016 年の 7 月でした。現在室長をされている若田君とのご縁で現在に至ります！

当時の入会前の JC に対するイメージはすぐに変わり、ものすごく行動力のある、地域に大切な団体であることを感じた私は早く自分もこのような仲間達と一緒に活動したいと思い、早 3 年が経ちこうして卒業を迎える事となりました。思い起こせばもっともっとやれる事があったと感じる事もありますが多くの仲間に恵まれ、最高の JC 生活を送らせて頂きました。

卒業する身ではありますが、JC で培った経験をこれから社会、会社、家庭、仲間全ての場面で発揮できるようにこれからも修練して参りたいと思います。

色々な思い出がありますが、何十年経っても大切な思い出をまた仲間達と話せる様、また今まで出会った全ての方に感謝してこれから的人生を歩んでいきたいと思います。

本当にありがとうございました。

最後になりますが、

JC 入ってよかったなあ。



2019年度ご卒業の皆様へ

卒業される21名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、長きに渡り青年会議所と向き合いこの地域に、松山JCに貢献されましたことに心から敬意を表します。

今年度は「前へ」をスローガンに掲げ、1年間運動を進めてまいりました。新たなことにも多くチャレンジさせていただきました。忽那諸島の発信、ことばの再発信、国際フェスティバル、人財育成、全国大会松山大会5周年記念、振り返ると本当に新たなチャレンジを進めた1年でございました。メンバーの皆さまがどの事業、運動でも率先して自発的に動き、考え、向き合っていただいたことに感謝申し上げます。そして、この青年の姿勢こそが地域の意識を変える、インパクトのある運動を展開していく根源でございます。全てのことにおいて、想いをもって真摯に向き合うことを大切にしていただきたいと願います。

卒業生の皆さんは卒業後もこの地域を想い、豪傑としてそれぞれの場所でのご活躍を期待しております。生涯JAYCEEとして「前へ」の精神をもって、力強く歩みを進めてください。そして現役の歩みを温かく見守ってください。改めて、ご卒業おめでとうございます。

公益社団法人松山青年会議所
第67代理事長 杉野 康雄



広報委員会 委員長
宇都宮 浩明 君
(株)御料理仕出しさち 勤務

2013年7月に入会して、あっという間の6年半。涉外委員会の幹事と歴史文化発信会議の幹事、広報戦略会議の副議長、そして広報委員会の委員長として卒業となりました。ポンコツ幹事からはじまり、委員長で卒業とちょっとづつ伸びを続けた結果、少しは成長できたと自負しています。歴史(まつり)メンバーとはもお一辞めたいと言なながら朝まで議案をしていましたこと、特に春まつり前は寝れない日々が続き、今でも春になると議案に起こされますが今となれば良い想。歴史(まつり)委員会を追い出され、何をしたらいいのかわからぬまま広報委員会の副議長。。。レッドブル、眠眼打破を片手に議案の毎日。思い出すとゾッとなります。気が付けば委員長に選んでいただくことができましたが、どうやらアイデアマンではなかったようで全議案大炎上。今井副委員長を筆頭に委員会メンバーには迷惑ばかりかけてしまいました(ごめんなさい)。

最高の仲間(友人)に出逢えた場所がJCでした。もおー少しJCしてたかったなあー。

皆さん本当にありがとうございました。

